

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
配当金基準日	3月31日
	6月30日
	9月30日
	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載 URL https://www.hogy.co.jp

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



62

第62期 第2四半期

グループ報告書

2022年4月1日-2022年9月30日

株主の皆様へ



代表取締役社長 兼 CEO 保木 潤一

株主の皆様にご挨拶申し上げます。

62期中期の振り返り

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国政府による新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進んだことなどから消費や投資が拡大し、概ね回復基調で推移いたしました。一方、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や原油をはじめとする資源価格の高騰など世界情勢は不安定

なまま推移いたしました。

国内におきましては、7月以降の新型コロナウイルス感染第7波の急拡大により再び社会・経済活動が縮小傾向となりました。また、外国為替相場が円安方向に急激に変動したことなどから物価上昇圧力が高まり、経済活動に大きな影響を及ぼしました。

医療業界では、感染者数に合わせて医療機関への負担が増減しているものの、関係者の経験と努力により手術件数はコロナ患者増加による影響が少なくなりました。一方で、急激な円安や資源価格の上昇、電気代、輸送・運搬コストの上昇などにより多くの物資の価格が上昇したことに加え、医療現場におきましては、人手不足が常態化しております。また、政府が主導する地域医療構想の一環である病床機能再編への取り組みに関しては、本年度の診療報酬改定において急性期充実体制加算が導入されるなど、病院経営にとっては変動が大きく、かつ対応が急がれる厳しい状況が継続しております。こうした中、当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間において、医療安全とお客様の業務効率化に資する製品の提案を積極的に展開したことなどにより売

上高が伸長し、特に最重要戦略製品である「プレミアムキット®」(以下「プレミアムキット」と表記)の売上が拡大いたしました。この「プレミアムキット」は術前、術中、術後において発生するお客様の手間を削減するとともに、手術における医療安全が確保できる高付加価値製品であり、発売以降お客様に高いご評価をいただき堅調に売上を伸ばしている当社の主力製品です。また、コロナ患者の増加に伴い、感染防止関連製品(高機能マスク等)の特需がありました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,201百万円(前年同期比7.1%増)となりました。また、キット製品の売上高は11,773百万円(同7.8%増)、内「プレミアムキット」の売上高は7,243百万円(同14.7%

増)となりました。売上原価は、円安による原価上昇が大きく影響を及ぼし、原価率が上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、費用の抑制に努めたことから前期に比べ減少いたしました。上記理由により、営業利益は3,185百万円(同6.6%増)となりました。経常利益は、前年同期と比べ営業外費用において為替差損が増加したこと等から3,162百万円(同3.1%増)となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,232百万円(同0.1%減)となりました。

今後の取り組み

今後の見通しにつきましては、不安定な国際情勢の悪化・長期化や資源・原材料価格の高止まり、更なる円安の進行に伴う物価

第62期(2023年3月期)第2四半期損益計算書

単位:百万円 端数:切捨て	21.9 61期 2Q実績		22.9 62期 2Q実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	17,928		19,201		1,273	107.1%
営業利益	2,987	16.7%	3,185	16.6%	197	106.6%
経常利益	3,067	17.1%	3,162	16.5%	95	103.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,234	12.5%	2,232	11.6%	△1	99.9%
E P S	75.83円		92.05円			

上昇圧力や新型コロナウイルスの感染拡大状況などが懸念材料になると想定しております。当社グループにおきましては、特に製造子会社P.T.ホギインドネシアで製造している製品の原価が円安の影響により上昇し、利益を圧迫している状況が続いております。今後也为替相場水準を見通すことが困難であることなどから、同子会社で製造する一部の製品について為替の変動に応じて販売価格を定期的に見直す運用に切り替えるとともに、製品の統廃合を順次行ってまいります。当社グループといたしましては、コスト削減などの企業努力に加え、これらの対策を講じることで製品の安定供給と品質の確保を実現し、トップメーカーとしての責務を果たしてまいります。

国内におきましては、新型コロナウイルスの感染者数が、本年夏場にかけて拡大の兆しを見せておりましたが、当第2四半期末には感染者数が減少するなど増減を繰り返しております。こうした不安定な状況下においても、政府による病床機能再編を含む地域医療構想実現への取り組みは着実に前進しており、医療機関はその対応に迫られております。また、医療従事者の離職率が高止まりす

る中、医師の働き方改革やタスクシフトなど医療関係職の業務範囲の見直しや職場改善が求められており、院内業務の生産性改善と安全で質の高い医療提供体制の確保を両立させることが急務となっております。

当社グループは、お客様が抱えるこうした課題解決に貢献するための提案活動を引き続き積極的に行ってまいります。特に、最重要戦略製品である「プレミアムキット」をはじめ医療機関をサポートする製品やサービスの販売を通じて、顧客満足の向上を追求してまいります。さらに、医療安全を確保しながら、厳しい環境で就労されているお客様の業務負荷を徹底的に削減し、深刻化する医療現場での人手不足や生産性低下、働き方改革をはじめとする経営課題に対してお客様に寄り添いながら取り組んでまいります。



「プレミアムキット」

また、今後も需要拡大が見込まれる「プレミアムキット」の生産量増大と生産効率向上のため、新キット工場Ⅱ期工事を着実に進めていくとともに、原価低減など経営効率化により一層努めてまいります。

海外事業におきましては、シンガポールにある販売子会社のホギメディカルアジアパシフィックPTE. LTD. 及びインドネシアの販売子会社P.T.ホギメディカル セールス インドネシアが、シンガポール及びインドネシアを中心にASEAN（東南アジア諸国連合）各国の基幹病院への製品導入を積極的に展開してまいります。

製造原価につきましては、新キット工場Ⅱ期工事を着実に推進していくとともに、P.T.ホギインドネシアにおける内製化の推進や生産性の改善に取り組むことで引き続き原価低減を図ってまいります。また、上記市場環境により原価率の上昇を見込んでおります。また、事業拡大に向け注力しているR-SUD（単回使用医療機器再製造）事業につきましては、当第2四半期末時点での許認可取得件数が6件、申請数が1件となっております。

なお、当社グループは、2022年4月4日をもって、東京証券取引所が定める新市場区分「ブ

ライム市場」に移行いたしました。プライム市場の選択を契機として、より高いガバナンス水準とサステナブルな成長、そして中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、売上高38,720百万円（前期比 5.3%増）、営業利益6,510百万円（同6.1%増）、経常利益6,570百万円（同4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,570百万円（同4.6%増）を計画しております。また、2023年3月期の配当金につきましては、各四半期とも17.50円、通期では70.00円を予定しております。

なお、上記見通しは新型コロナウイルスによる影響が一定程度回復すると仮定したものであり、状況により変動する可能性があります。今後業績予想の修正の必要が発生した場合には速やかに開示いたします。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

2022年11月

代表取締役社長 兼 CEO 保木 潤一

ホギメディカルのサステナビリティとは、医療の安全・安心を守り続けること



S U S T A I N A B I L I T Y

<h2 style="font-size: 2em; margin: 0;">E</h2> <p>Environment [環境]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●医療機器の再製造モデル「R-SUD」販売開始へ ●ホテルの里プロジェクト ●営業車をハイブリッド車へ ●ひとりひとりが資源を大切に
<h2 style="font-size: 2em; margin: 0;">S</h2> <p>Social [社会]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●安全な製品で現場に安心を ●医師と共同開発で医療の進歩に貢献 ●医療現場の取り組みを全国にご紹介 ●PCR検査を定期実施 ●女性活躍に向けて2030年には女性管理職比率10%を目指す ●サステナビリティ教育 ●社員がいきいきと仕事ができる職場環境への取り組み ●仕組みと訓練で社員の安全を確保し災害や事故への備えを万全に
<h2 style="font-size: 2em; margin: 0;">G</h2> <p>Governance [企業統治]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティの強化 ●指名委員会・報酬委員会の設置 ●コンプライアンス教育

サステナビリティ方針

当社は、「社業を通じて医療進歩の一翼を担い、人々の健やかな生命と幸福に尽くし、もって社会の繁栄に寄与する」という社是のもと、医療の安全と安心を守り、人々の健やかな生命と幸福に満ちた持続可能な社会を次の世代に引き渡すために、以下の方針を定め、実施し、維持してまいります。

1. 当社は、中長期の経営計画を策定し、既存事業の拡大と新たな挑戦を通じて医療課題の解決と発展に貢献します。
2. 当社は、安全で高品質な製品とサービスを 開発・製造し、これらを将来にわたり安定的に提供することを通じて、環境や社会課題の解決に取り組めます。
3. 当社は、プライム市場上場企業として、高いガバナンス水準を備え透明性の高い経営を行い、ステークホルダーとの建設的な対話を促進し、持続的な企業価値の向上に努めます。

株式会社ホギメディカル 代表取締役社長 保木 潤一
制定：2022年4月8日

E

サステナブルな医療機器の提供に向けて「R-SUD」販売開始へ

承認品目が6品目に増加。2品目は2022年秋から販売へ ※承認品目は2022年9月末時点

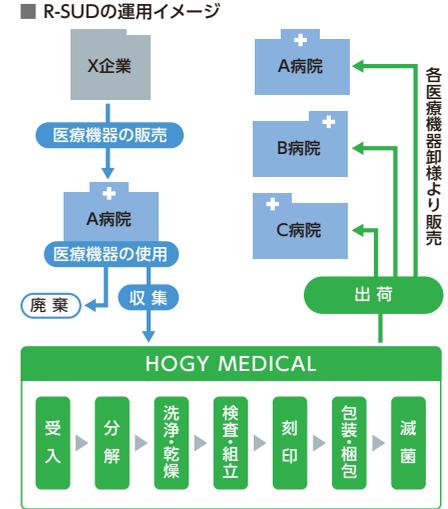
9 環境と社会課題の解決に向けた取り組み

12 つの目標の達成

R-SUD 事業とは、単回使用医療機器 (Single Use Device) を使用後に収集し、検査・分解・洗浄・滅菌などの処理を行ったうえで、同一用途の製品として再製造し、販売する事業です。日本では2017年に厚労省が推奨する事業としてスタートし、現在では国内で2社が販売を開始しております。

当社では本事業を通じて、「医療安全の確保」「医療資源の有効活用」「サステナブルな医療機器の提供」「医療費削減」「医療廃棄物の削減」に貢献してまいります。

また、お客様に安心して再製造品を使っていただくために一品一品全数検査を実施し、品質を担保しております。



注) 本再製造プロセスは一例であり、製品によって異なる場合もございます。

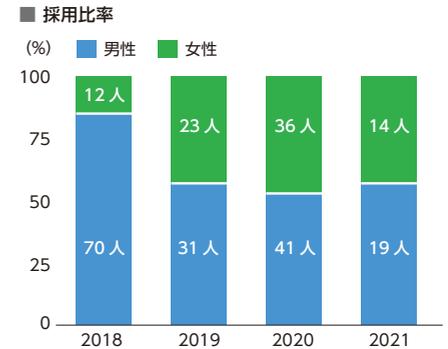
S

女性活躍に向けて

2030年には女性管理職比率10%を目指します

5 シンクアウト率の向上

当社では女性活躍を推進するとともに、2021年時点で2%にとどまる女性管理職比率を2025年に5%、2028年に8%と段階的な目標として掲げ、2030年には10%以上を目指しております。女性の採用比率の向上ならびに、女性も男性も働きやすい環境整備、管理職を目指す女性社員のスキル向上のための場づくりなど、さまざまな取り組みを実施していきます。



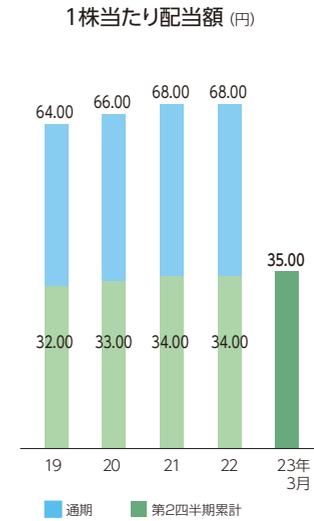
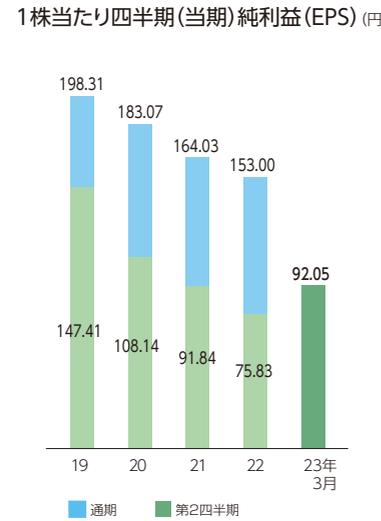
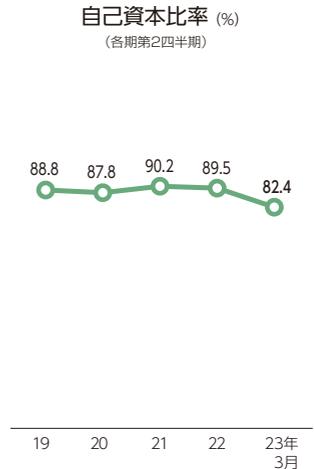
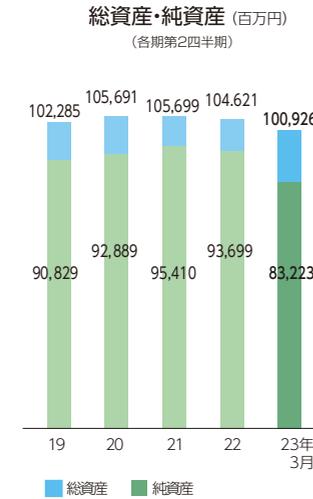
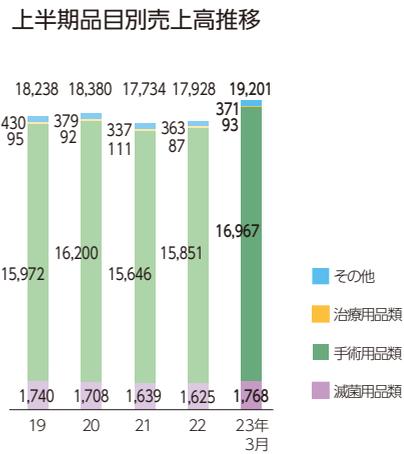
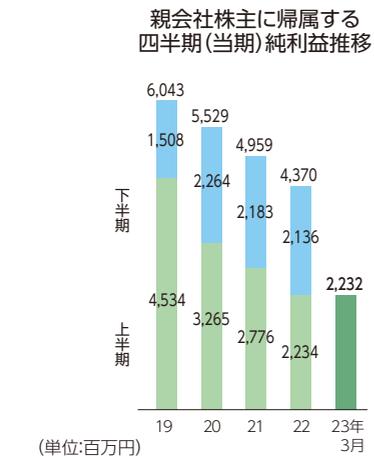
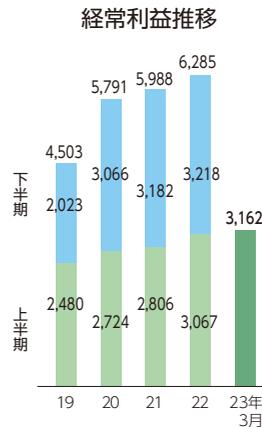
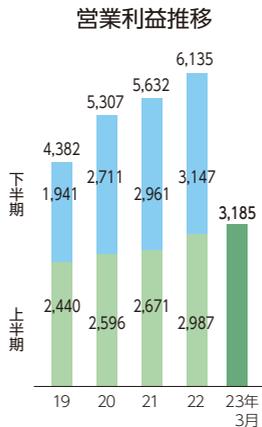
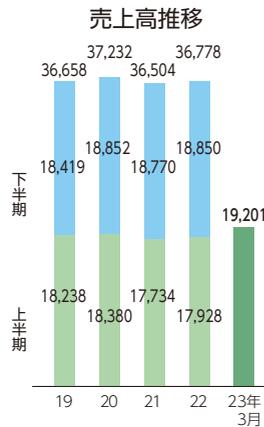
サステナビリティの取り組みについて詳しくは当社ウェブサイトから、「ホギメディカルレポート」のページをご覧ください。



連結財務ハイライト

●財務指標

	2023年3月期第2四半期	2022年3月期第2四半期	2022年3月期
売上高	19,201 百万円	17,928 百万円	36,778 百万円
営業利益	3,185 百万円	2,987 百万円	6,135 百万円
経常利益	3,162 百万円	3,067 百万円	6,285 百万円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,232 百万円	2,234 百万円	4,370 百万円
総資産	100,926 百万円	104,621 百万円	98,967 百万円
純資産	83,223 百万円	93,699 百万円	79,996 百万円
1株当たり四半期(当期)純利益	92 円 05 銭	75 円 83 銭	153 円 00 銭
1株当たり純資産率	3,430 円 19 銭	3,232 円 45 銭	3,296 円 32 銭
自己資本比率	82.4%	89.5%	80.8%



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産	35,290	38,106
現金及び預金	14,364	15,863
受取手形及び売掛金	11,341	11,891
商品及び製品	4,272	4,141
仕掛品	428	431
原材料及び貯蔵品	4,110	4,328
その他	773	1,449
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	63,676	62,820
有形固定資産	52,759	51,856
建物及び構築物(純額)	21,578	21,326
機械装置及び運搬具(純額)	6,073	5,486
土地	9,625	9,711
建設仮勘定	14,775	14,550
その他(純額)	706	780
無形固定資産	1,536	1,392
投資その他の資産	9,381	9,571
投資有価証券	8,105	8,357
貸倒引当金	1,282	1,222
	△7	△7
資産合計	98,967	100,926
負債の部		
流動負債	9,348	8,988
支払手形及び買掛金	4,336	4,463
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,999
未払法人税等	980	1,017
引当金	478	473
その他	1,553	1,034
固定負債	9,622	8,713
長期借入金	7,667	6,668
退職給付に係る負債	478	546
その他	1,476	1,499
負債合計	18,970	17,702
純資産の部		
株主資本	76,422	77,817
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	88,523	89,919
自己株式	△27,561	△27,561
その他の包括利益累計額	3,536	5,388
その他有価証券評価差額金	2,831	2,834
繰延ヘッジ損益	261	307
為替換算調整勘定	608	2,378
退職給付に係る調整累計額	△164	△132
非支配株主持分	37	17
純資産合計	79,996	83,223
負債純資産合計	98,967	100,926

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	17,928	19,201
売上原価	10,344	11,483
売上総利益	7,583	7,717
販売費及び一般管理費	4,596	4,532
営業利益	2,987	3,185
営業外収益	151	108
受取利息	19	24
受取配当金	31	33
受取保険料	72	—
受取賃貸収入	—	30
受取の他の	28	19
営業外費用	72	131
支払利息	1	15
為替差損	8	30
投資事業組合運用損	43	56
自己株式取得費用	16	—
貸倒引当金の繰上	—	28
その他の	3	0
経常利益	3,067	3,162
特別損失	1	0
固定資産廃棄損	1	0
税金等調整前四半期純利益	3,065	3,162
法人税等	846	950
四半期純利益	2,218	2,212
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,234	2,232

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
四半期純利益	2,218	2,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	2
繰延ヘッジ損益	△39	46
為替換算調整勘定	475	1,770
退職給付に係る調整額	△60	32
その他の包括利益合計	443	1,851
四半期包括利益	2,662	4,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,677	4,084
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	△19

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,065	3,162
減価償却費	2,038	1,837
受取利息及び受取配当金	△ 50	△ 58
支払利息	1	15
投資事業組合運用損益 (△は益)	43	56
為替差損益 (△は益)	19	57
売上債権の増減額 (△は増加)	58	△ 407
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 159	365
仕入債務の増減額 (△は減少)	22	28
その他	△ 101	92
小計	4,937	5,148
利息及び配当金の受取額	50	55
利息の支払額	△ 1	△ 15
法人税等の支払額	△ 1,059	△ 981
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,926	4,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 682	△ 1,096
無形固定資産の取得による支出	△ 82	△ 41
投資有価証券の取得による支出	△ 406	△ 315
保険積立金の払戻による収入	229	—
その他	44	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 897	△ 1,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△ 64	△ 999
自己株式の処分による収入	117	0
自己株式の取得による支出	△ 4,016	△ 0
配当金の支払額	△ 1,011	△ 836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,974	△ 1,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	115	574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,789	△ 1,543
現金及び現金同等物の期首残高	19,911	13,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,121	15,363

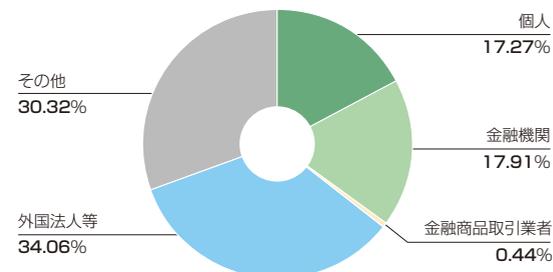
株式の状況 (2022年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 130,000,000 株
- 発行済株式の総数 32,682,310 株
- 株主数 11,883 名
- 大株主

株主名	所有株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,881,700 株	11.87%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	1,907,100 株	5.83%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	943,000 株	2.88%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	870,908 株	2.66%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 009-016064-326 CLT	839,300 株	2.56%
保木潤一	728,183 株	2.22%
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	588,500 株	1.80%
株式会社メディアパルホールディングス	584,000 株	1.78%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE TOWERS WATSON COMMON CONTRACTUAL FUND (TTF)	513,660 株	1.57%
THE BANK OF NEW YORK 134105	504,040 株	1.54%

(注) 当社は自己株式 8,425,317 株を保有しております。

5. 株式の所有者別状況 (持株比率)



会社の概要

商号 株式会社ホギメディカル
(英文名) HOGY MEDICAL CO., LTD.

本社所在地 東京都港区赤坂2丁目7番7号 〒107-8615
☎ 03(6229)1300 (代)
https://www.hogy.co.jp

設立 1961年4月3日

資本金 7,123,263,500円 (2022年9月30日現在)

従業員数 連結：1,467名 単体：787名 (2022年9月30日現在)

役員 代表取締役社長兼CEO 保木潤一 常勤監査役 布施郁夫
取締役 川久保秀樹 監査役 築瀬捨治
取締役 石川皇 監査役 飯塚昇
取締役 上杉潔
取締役 藤田泰介
取締役 ゲンベトハ

(注)1. 取締役 上杉潔、藤田泰介、ゲンベトハは、社外取締役であります。
2. 監査役 築瀬捨治、飯塚昇は、社外監査役であります。

(2022年9月30日現在)

営業品目

オペラマスター 医療用キット製品
医療用不織布製品 医療用包装袋 (メッキンバッグ)

事業所一覧

札幌営業所 盛岡営業所 仙台営業所 宇都宮営業所 大宮営業所
千葉営業所 東京支店 多摩営業所 横浜営業所 新潟営業所
金沢営業所 静岡営業所 松本営業所 名古屋支店 京都営業所
大阪支店 神戸営業所 岡山営業所 広島営業所 松山営業所
福岡営業所 熊本営業所 鹿児島営業所

研究開発本部

筑波工場 筑波滅菌センター 筑波配送センター 筑波 OPC
美浦工場第一 美浦工場第二 江戸崎配送センター 江戸崎滅菌センター
(子会社) P.T. ホギインドネシア (子会社) ホギメディカル アジアパシフィック PTE. LTD.
(孫会社) P.T. ホギメディカル セールス インドネシア

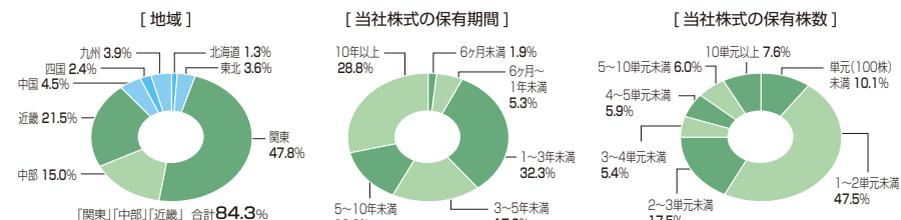
株主アンケート結果のご報告

当社は株主の皆様が私たちに何を期待され、どのようなIR活動をご要望なのかを知るため、すべての株主の皆様8,242名(2022年6月17日時点)を対象に、ハガキによるアンケート調査を実施し、うち15.3%に当たる1,264名の方々からご回答をいただきました。下記に、お寄せいただきました内容の一部をご報告させていただきます。

[調査対象] 全株主8,242名 [調査方法] 定時株主総会決議ご通知に同封(2022年6月17日発送)

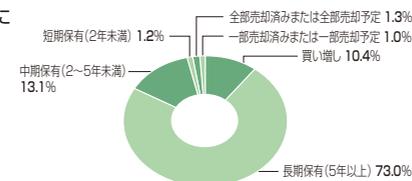
[調査期間] 2022年6月17日～7月31日 [集計対象ハガキ] 1,264枚 [回答率] 15.3%

■ アンケートご回答者の属性



■ 「今後の当社株式の保有方針についてお聞かせください。」

(1つだけ)



アンケートにご協力いただきました皆様に対し、厚く御礼申し上げます。皆様から頂戴いたしました貴重なご意見・ご要望を誠実に受け止め、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。

メディア提供情報

■ 2022年度は以下のテレビドラマに当社製品を提供させていただきました。

- 4月29日(金) 公開、劇場版ラジエーションハウス
- 10月7日(金) 夜11時放送開始(以下同様)、WOWOW オリジナルドラマ「DORONJO／ドロソジョ」
- 10月8日(土) 夜10時 日本テレビ系、10月期土曜ドラマ「祈りのカルテ～研修医の謎解き診察記録～」
- 10月10日(月) 夜9時 フジテレビ系、月9ドラマ「PICU 小児集中治療室」
- 10月20日(木) 夜9時 テレビ朝日系、木曜ドラマ「ザ・トラベルナース」